

ペアワークも、ピッチも、全員が手を振ったりあそびたり、時間をとても余すことが多く、互いに信頼し合って活動に取り組んでいる姿が一番印象に残りました。
英語の力そのものを育てることは当然ですが、授業の中で、仲間を思いやる気持ちや、やはり強く物事に取り組む姿勢、コミニケーションの大切さも学ばせることが出来るように、私も取り組んでいきたいと思います。

3/15(月) 3人で食べ物について極力会話の目的をもち、質疑同士の相互目的を計画を立て、お互いに協力して課題を達成する。生活同士の相互目的を達成し、ペアワークは一日に1回、1人1人の助け合いに力を入れ、自分の言いたいことを伝えようとする。ペアワークの準備は、中嶋先生の場所をリーダーを指導し、それが自信と得られていることがわかった。

1つの活動を行うために、あらかじめ十分な準備期間や生徒が自ら学習する姿勢を作ることが大切だ"と感じました。また、ペアワークがクラス全体にあたえる影響の大きさを痛感しました。相手に伝えたい気持ちを、ペアからクラス全体で分かち合い、英語が出来る生徒も出来ない生徒も、達成感を味わえる授業を私も目指していきたいです。

眼鏡をかけた女子、野球部のハラス君(?)など、必死に話そうとしている姿は、とても笑しくなりました! ああいつが授業の中で作りたいと思いました!

Speaking ≠ Talking

違い ← コミニケーションの原点

×カネ君と腰心の君のTalk後の振り返り、なるほどな〜と考えられました。

この週間で「伝える力」
テーマ、ゴール設定の重要さを改めて考えられました。

パトリック、パートナーそれぞれが高めて合っている活動だと思
った。一人一人が主体的に学習している姿に感動した。

2

中山島先生が生徒にするアドバイスは「生徒自身でどうしたら
いいのか考えさせるもので、本物の力をつけられる人ではなかったと
英語が苦手な生徒も、伝え^{たい}という思いが大切でありそれを気づかせて
活動ができることで自信につながると思う。

相手に興味を持ち、相手の思いをこぼれを通してうけとろうと
お気持ち大切にすること。人の関わりはこぼれを介して広がって
いくものも多いのでこぼれにはいつも心を込めて遣り意識を
うえつけてくれる勉強には生徒のみならず私も魅力を感じている。

生徒自身が考えて活動している量が多かった。こぼれに驚かされた。パートナーの生徒は
たんと相手に理解してもらおうと工夫を凝らしている。授業中に黒板に時間やツレを
示す。英語教育の科に比べて、"人とcommunication 相手の声" への話し合い、こぼれは
魅力的な人になっていく。こぼれは中山島先生のメッセージもとてもよく伝わった。
先生の手によるアドバイスも的確で、生徒の力が着実に伸びていく御指導の素晴らしさを
感じ、温かさのある、かつ授業に本当に素晴らしさを感じた。

~~授業~~ 授業を通して、単に英語を教えるだけでなく、言葉を使って
人とコミュニケーションを取る力、相手を思いやり、相手に関心を
持ち、相手に何かを伝えたいという気持ちを持つことを、生徒たちに
教えている、と感じました。
(の大切さ)

中山島先生の教えてもらっていることは、これからの時代を生きていく上で、
本当に大切なことだと思えます。

一番驚いたことは、生徒が積極的に計画を立て、英語を勉強していた
ことです。計画を立てる所をみると、パートナーがパートナーを助けていた。学習を
して自ら学ぶ子だと思いました。

このような学習を成し遂げるために、普段からどのようなことを配しているか
も知りたいです。

・リーダー、パートナー それぞれが高めて合っている活動だと思
った。一人一人が主体的に学習している姿に感動した。

2

- ・中山島先生が生徒にするアドバイスは「生徒自身でどうしたら
いいのか考えさせるもので、本物の力をつけられる人ではなかったと
感じた。
- ・英語が苦手な生徒も、伝え^{たい}という思いが大切でありそれを気づかせて
活動ができることで自信につながると思う。

相手に興味を持ち、相手の思いをことばを通して受けとろうと
お気持ちは大切にすること。人との関わりはことばを介して広がって
いくものも多いので、ことばにはいつも心を込めて遣う意識を
うえつけてくれる勉強には生徒のみならず私も魅惑を感じている。

生徒自身が考えて活動している量が多いため、そう感じました。パートナーの生徒は勿論、リーダーの生徒も
みんな相手に理解してもらおうと工夫を凝らしているので、授業中に無駄な時間やツラい気配は感じられ
ず、英語教育の枠にとどまらず、「人とcommunicationがととの空間」= 人の話(に)と自分の話(を)を
勉強的に人に押しつけて... というのは中山島先生のメッセージもとてもよく伝わりました。
先生の与えるアドバイスも的確で、生徒の力が着実に伸びていく御指導の素晴らしさを実感しました。
厳し、温かさのある、力の強い授業。本当に素晴らしい授業です。

~~授業~~ 授業を通して、単に英語を教えるだけでなく、言葉を使って
人とコミュニケーションを取る力、相手を思いやり、相手に関心を持
ち、相手に何かを伝えたいという気持ちを持つことを、生徒たちに
教えている、と感じました。
(の大切さ)

中山島先生の教えてもらっことは、これからの時代を生きていく上で、
本当に大切なことだと思えます。

一番驚いたことは、生徒が積極的に計画を立て、英語を勉強していた
ことです。計画を立てる所をみると、リーダーがパートナーをばばした。1人学習を
してやりなさいだと思えました。

このような1人学習を成立させるために、普段からどのようなことに気を配っているのかを
もっと知りたかったです。

3

そこ、疑問も含まれる。

・何度同じビデオを見ても、あせるとさせられる。私に、新しい発見もあります。どうして、英語が出来ない生徒でも、あれだけ、英語が出て来るのでしょうか？(あらかじめ準備は、内容の話でなくして...) せんちとどうな男子もどうして、ディスカッションで出るのでしょうか？ 先生が教室に行く前に、どうやって、生徒は勉強しているのでしょうか？ 全て、中嶋先生の意図の中、子どもたちは育っているなと感じます。ビデオの最後にある、英語を通して、鬼才ある人間になってほしい、ということばかりです。

HPA学習が、英語があまりできない生徒の支援としてだけでなく、英語が得意な生徒の理解にも役立つ、と考えた。また、2人で話す、相談するという事自体が、クラス全体を話しやすい雰囲気にする、と気づかっていると感じた。教師には、いいにいいことも生徒同士で話さなくても解決できると思います。

生徒に3週間前に告知をして、トライアングルディスカッションに向けて自ら計画的に取り組めるようにしていました。私は今年採用一年目で、自身も「またまた」計画的に授業を構成できているかと、二か三か生徒が「計画的に自ら力を付けていけるはず」と感じたと反省しました。

何故、学び合うことが大切であるかが生徒達が体感(頭と心と体で)できるHPA学習、私も目指してみたいです。どうしても、私がやると「教え込み」になってしまい、生徒達自らの「気づき」が少なくなってしまうので。中嶋先生のHPA学習は、大抵とてとても大切にされている方法だと思います。何に気づき、どうしたらいいかというヒントを与える。得意な生徒も苦手な生徒も授業の中で、喜びが見られる。活動の積み重ねにより、相手を思いやる心と英語力とともに育て、高める。などなど、私にはないものばかりです。英語の教師として、これから生徒達の成長に関わってゆきたいです。中嶋先生を理想として...

「聞く・話す」だけではなく、内容のあるものを構築していくというリーノットの活動ではおもしろい。相手に関心を持つことの大切さを学び、持つための魅力ある人間になることを目指してペア学習で本当に指導が行き届いていて、みんなが英語でのコミュニケーションに真剣で、どうしたらいいか、基礎的なことをもつとて学びたいです。

ペア活動が互いを成長させているなと感じました。ペアーダーとパートナーの信頼関係がないとできないと思います。コミュニケーションしていきながら、相手に関心を持ち、会話を続けていくことを中学生の頃から練習していくのは、重要だと思ってる。「魅力ある人間に」という言葉が印象に残りました。

相手のことを思いやる気持ちがある、その会話が成立する。一方的に考えを押しつけるのではない talking の能力をつけるためには、このことが大切なんだと改めて思いました。これから生徒が生き生きと話したくなるような話題を提示できるように、自分自身も勉強していきたいです。また、ペア活動でペアーダーにまかせきりになっていたので、3学期には集めてアドバイスをし、よりよい生徒対教師、生徒同士の関係を築いていきたいと思っています。

思いやりのある言葉が生徒の口から自然に出ているのが本当にいいなあと思いました。私の授業の中でも、こういう言葉がたくさん聞けるように、色々な工夫をして授業を生徒たちと一緒に作ってほしいと思います。

私もペア学習を基本にして授業作りをしていいますが、わくわく授業を見て、改めてペア学習の意義や効果について考えさせられました。英語の力を付けるだけではなく、人間関係作りにおいても、大きな力を発揮すると思ったり。安心して学習できる環境のもと、仲間と協力して英語の力が付いていく中嶋先生の授業からは学ぶ事が多く、3学期からの授業作りへの大きな力となります。